

日本一

女性が働きやすいまちを目指して

令和6年9月10日

酒田市長 矢口 明子





- 山形県の日本海側に位置
- 人口 約 9 万 5 千人
- 面積 約 6 0 0 km²
- アクセス

JR 東京 ———— 新潟 ———— 酒田 (約 4 時間)
上越新幹線

JR 東京 ———— 新庄 ———— 酒田 (約 4 時間)
山形新幹線

航空機 羽田空港 ———— ANA ———— 庄内空港 (約 1 時間)



【共働き率】

山形県：59.9% ※全国第2位

<R2国勢調査／総務省>

【育児をしながら働く女性の割合】

山形県：87.2% ※全国第2位

<R4年度 就業構造基本調査／総務省>

【1日当たりの仕事・家事等の平均所要時間】

平日 仕事 女性：6時間41分 男性：7時間58分

家事 女性：3時間22分 男性：1時間7分

育児 女性：1時間40分 男性：18分

<令和元年度ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画及び
女性活躍に関する県民意識・企業実態調査／山形県>



【人口】

94,555人 (R6.7.31現在 住民基本台帳より)

◆H22年：111,151人、H27年：106,244人、R2：100,273人 (各年国勢調査より)

※H22⇒R2の10年間で△10,878人

10年間で約1割減少

※H27⇒R2の5年間で△5,971人

【雇用情勢について】 (R6.7月分 ハローワーク酒田公表データより)

◆有効求人倍率 1.51倍 (山形県の求人倍率1.29倍)

◆R6.3月新規高卒者の就職状況

県内133人、県外63人 (県内就職率 計67.9%)

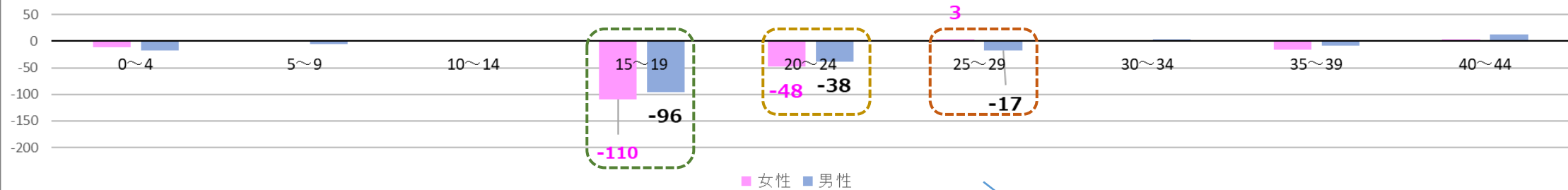
※コロナ禍前のR2.3月卒は、県内202人、県外159人

(県内就職率56%)

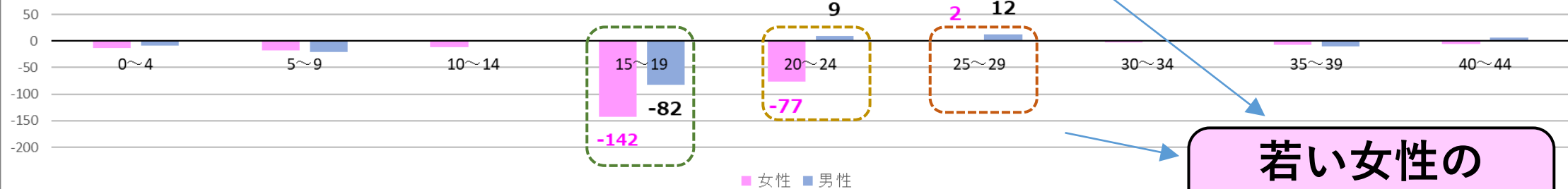


本市の現状（社会増減）

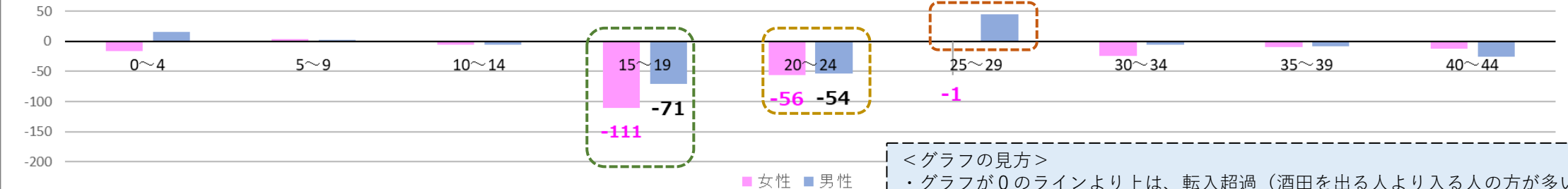
2021年の社会増減（男女別・年齢階層別）



2022年の社会増減（男女別・年齢階層別）



2023年の社会増減（男女別・年齢階層別）



若い女性の
流出が多い

<グラフの見方>

- ・グラフが0のラインより上は、転入超過（酒田を出る人より入る人の方が多い）、下は転出超過（酒田に入る人より出る人の方が多い）。
- ・グラフの人数は、転入者－転出者。差し引きがプラスであれば、入る人の方が多い、マイナスであれば出る人の方が多い。

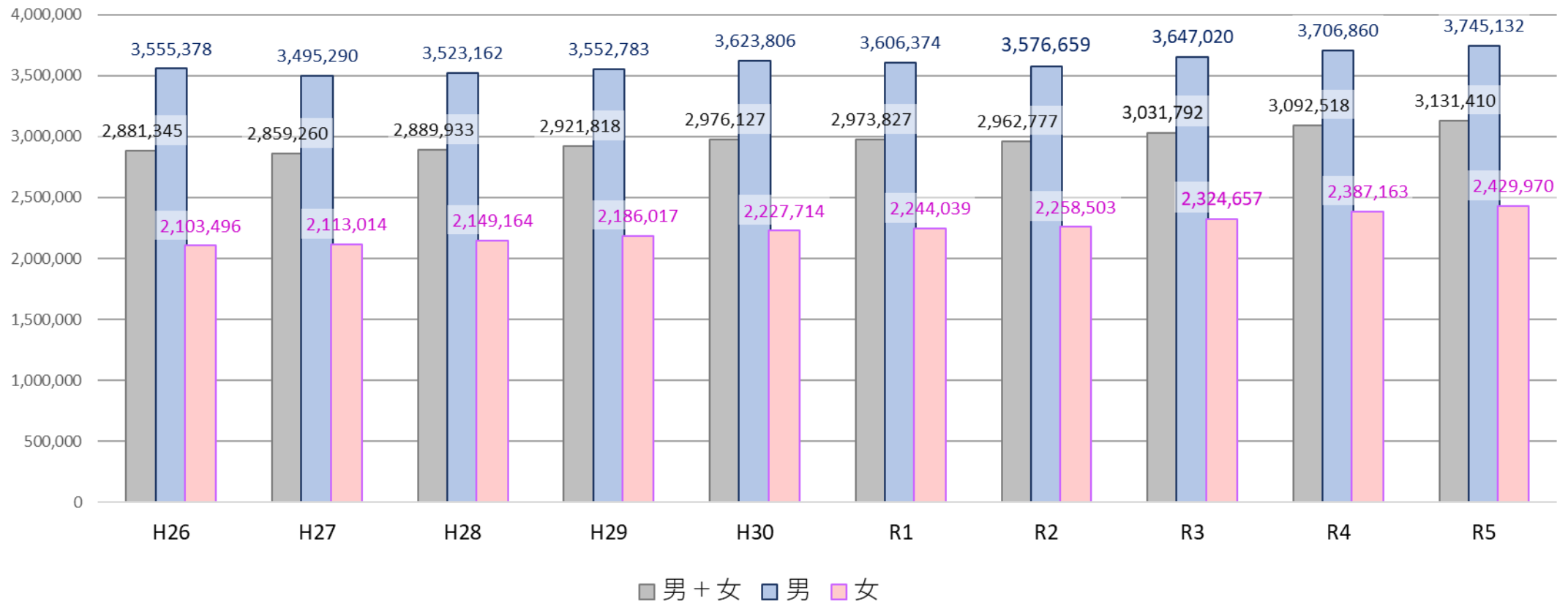
本市の現状（男女の賃金格差）

- ・ 女性は微増傾向、R 5 は約242万円（前年比1.79%増）
- ・ 男性は微増傾向、R 5 は約370万円（前年比1.03%増）
- ・ **女性（R 5）平均給与収入は、男性の64%**

目標値（R9）

68%

① 推移〔H26→R5〕 平均給与収入



地方都市の人口減少の最大の要因

- 若い女性（＞男性）が都会へ流出している。・・・社会減
- その結果、若い女性・男性の婚姻数が減少している。
- その結果、出生数が減少している。・・・自然減

若い女性の流出の最大の要因

- 自身の成長を感じられる仕事を選べない。所得水準が低い（「所得水準」と「若い女性の流出率」には相関関係あり）。
- 伝統的な性別役割分担意識が強く、自由に生きられない。



平成29年度市民フォーラムで 「日本一女性が働きやすいまち」 を目指す宣言を行いました



市民フォーラムでは、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組んで行くことを宣言しました。



日本一女性が働きやすいまちへ

少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、誰もが生き生きと働き続けることのできる環境を整えることが、地方創生の根幹となります。

酒田市は、自らの意思によって働くまたは働こうとする女性が、その個性と能力を十分に発揮し、その思いを叶えられるまちを目指し、「日本一女性が働きやすいまち」となるよう、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組みを進めていくことをここに宣言します。

平成29年10月1日



酒田市では、「日本一女性が働きやすいまち」を目指し、下記3つのテーマを柱に女性活躍に取り組んでいます。

(1) 働きやすい職場環境整備

目標	事業主への意識啓発
	働きやすい職場環境の増加 (女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定済企業、えるぼし認定企業の増加)

(2) 家庭との両立支援

目標	特別保育等子育て支援サービスの拡充
	保育需要の多様化への対応
	家庭における意識啓発 (家事の見える化や家事代行の活用等による家事シェアの推進)

(3) 女性のチャレンジ支援

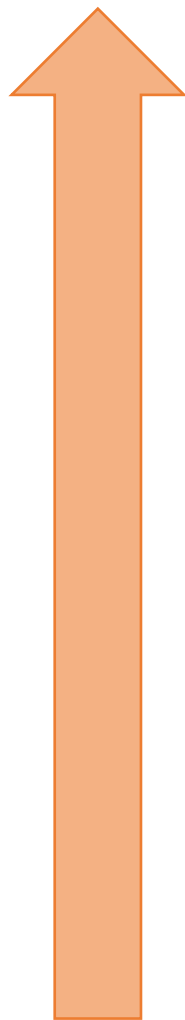
目標	多様な働き方ができる環境整備
	女性のスキルアップや再チャレンジへの不安解消



(1) 働きやすい職場環境整備



ステップアップ



女性活躍支援員が
企業訪問 & サポート



えるぼし認定

女性活躍推進法に基づく
行動計画の策定

日本一女性が働きやすいまち
宣言に賛同するリーダーの会

ステップ3

厚生労働大臣の
認定

ステップ2

山形労働局へ届出

ステップ1

まずは賛同



日本一女性が働きやすいまち宣言に 賛同するリーダーの会

8月末現在

147社



	令和3年度 R4.3.31時点	令和4年度 R5.3.31時点	令和5年度 R6.3.31時点
賛同企業数	47社	73社	129社

+ 26社

+ 56社



- ・日本一女性が働きやすいまち宣言
に賛同するリーダーの会

会員数 **147** 社（令和6年8月末現在）



- ・えるぼし認定企業 **8** 社（令和6年8月末現在）

認定段階：えるぼし3段階目 6社、えるぼし2段階目 2社

業種：製造業4社、建設業1社、不動産業2社、医療1社



県内トップ！

全国でも第2位！（東京23区、県庁所在地、政令指定都市除く）



(2) 家庭との両立支援

家事シェア チェック宣言

家族・パートナーと一緒に！

抽選で参加特典も！

～8月は酒田市の家事シェア推進月間です～

家事・育児、ひとりで頑張っているいませんか？！

家事も育児も自分だけ大変な気がする...

家事シェアしてみたいけど、なかなかきっかけがないんだよ...

ゴミ出しとかはやってるつもりだけど...

言わないとやってくれないよね...

もやもや

イライラ

少しはゆっくりできる自分の時間が欲しいな...

仕事が忙しくなってきたからあまり家のことはできていない...

仕事が忙しいのは私も同じなんだけど...

家事シェアしてるつもりだけど、実際本当にできているんだろうか...

ステップ①
家族・パートナーと一緒にさまざまな家事の分担状況・満足度を簡単チェック

ステップ②
入力内容を家族・パートナーと一緒に振り返る・話し合う

ステップ③
家事シェアチェック宣言(今後の目標など)を入力

家事シェアチェック宣言を意識し、行動に移すことで...

家事・育児シェアの実現！

あわせ

ゆとり

★日々の生活が楽しく快適になります
★家族の会話や思いやりが生まれます
★日々の暮らしにゆとりが生まれます

※宣言内容について、市庁舎で取り上げる場合があります(匿名等個人情報を除きます)

8/31(土)まで

ここから参加

参加した世帯の中から抽選で30世帯に、家事代行お試しクーポン1万2千円分をプレゼント！！！！

普段から利用している方はもちろん、「家事代行、興味はあるけどまだ利用したことがない」というそのあなた！お得にお試しができるチャンスです！！

さらに、抽選に外れた世帯の中から抽選で、10世帯にラク家事グッズをプレゼント！

詳細は市HPをチェック

QRコード

new

- ・家事シェア推進月間を設定し、市民参加型の「家事シェアチェック宣言」による意識啓発を行う。
- ・参加者の中から抽選で家事代行お試しクーポンを交付する。

“家事・育児シェアが見てわかるシート” ～自分たちの生活スタイルに合った分担表を考えてみよう～

ステップ1
家事・育児の現状を把握し理想のシェアを見つけよう！

それぞれ分担している家事に○を付けてみよう

チェック！「現状を把握しよう」

改善案(これからは)

チャレンジ！「理想のシェアを見つけよう」

ステップ2
家事シェアを実現する大事なポイント

□白旗から家庭内で「お互いを尊重したコミュニケーション」を大切にしよう。

□それぞれの家庭に合ったやり方を話し合おう。
▶ちゃんと話し合いができる関係が本当に大事...

□手分けして、できることからやってみよう。
▶できないこともある。助け合いの精神を忘れずに...

□否定よりもアドバイスをしよう。
▶ダメ出しはしない。相手への気遣いを忘れずに...

□「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えよう。
▶お互いの家事を褒めちぎろう。「うわー嬉しい」など...

□家事分担表はメンテナンスしていこう。
▶その家事がキツイと思ったら弱音を吐こう...
完璧を求めすぎないこと。見直ししよう...

妻に分担が偏っている場合の事前準備(ヒント)

●夫や家族に分担してもらいたい家事は何かを考える。

●分担してもらいたい家事の内容、頻度、かかる時間を具体的に書いてみる。詳しいほどベター。

●夫や家族はその家事についてどう考えているか。(得意？苦手？交換条件があればやってくれる？など)

●自分が進歩できるポイントはどこにあるのか。(優先順位を決めておく、週2からスタートするなど)

・家族の生活が楽しく快適になります
・家族の会話や思いやりが生まれます
・日々の暮らしにゆとりが生まれます
・自分の事として一生役に立ちます

家事の名称	自分		パートナー	
	自分	パートナー	自分	パートナー
食卓	買い物			
	朝食を作る			
	朝食を片付ける			
	お昼の弁当を作る			
	夕食を作る			
掃除	夕食を片付ける			
	リビング・寝室			
	風呂			
	洗面所			
	トイレ			
洗濯	玄関			
	敷地			
	洗う・干す			
	取り込む・たたむ			
	アイロン掛け			
子育て	離乳食			
	送り			
	迎え			
	お風呂			
	通院・看護			
その他	一緒に遊ぶ			
	保育園や学校の準備			
	保護者会やPTA			
	宿題(勉強)をみる			
	ゴミ出し			
その他	生活用品の買物・補充			
	電球交換等メンテナンス			
	除雪			
	家計管理			
	地域活動(自治会等)			

「家事や育児は主に女性がやるもの」というような、無意識に思い込んでいる「性別による役割分担意識」はないかな？

OK!

家事シェアで解決!

・主に分担しているけど、充実している(つらくない)

・自分だけ大変だなあ(忙しい、つらい、疲れる)もって関わらなければとは思っているけど...

(3) 女性のチャレンジ支援

酒田市産業振興まちづくりセンターの取組み

背景（課題）

- ・女性の就業率が全国平均と比べて高いが世帯収入が低い
- ・ワークライフバランスが取れていない

目的

【市内女性】

- ① 新しい・多様な働き方の推進
- ② 複業による収入アップ

【市内事業者】

- ・ITツール活用・課題解決

女性
育成

市内企業

中小・小規模企業のサポート

- ・SNS発信代行
- ・HP制作
- ・チラシ制作 等

仕事獲得 &
事業者の課題解決

IT女子育成講座

- ・入門編
- ・実践編（より実務的な講座）
SNS・WEB・会計事務 等

仕事獲得

市外・県外企業

リモート環境で可能な仕事

- ・記事作成
- ・動画編集
- ・データ集計
- ・事務代行業務 等



(参考) IT関連企業の立地状況

◆令和3年11月～
パイルシェイプスルパン(株)様



本市出身者が神奈川県で起業し、「ICTで住みやすい街づくり」に寄与するため故郷の本市に移転



DX推進
Why? アクセス良
女性も活躍

◆令和6年4月～
PLCパートナーズ(株)様



卒業後地元に住みながら就業したい学生ニーズに対応した新しい採用プログラムを酒田市と共同で推進

◆令和4年3月～
(株)SIG様



R6年4月には50名規模の第2オフィス「酒田開発センター」を設立

働きがいをつくる人事DXの開発・販売を行う当該企業と連携し、行政の人事制度改革やIT人材育成に向けた取組を検討中

◆令和5年6月～
(株)サイダス様



日本一女性が働きやすいまちを目指す！

酒田市は、平成29年10月1日に「日本一女性が働きやすいまち」を目指すことを宣言。宣言文：『少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、誰もが生き生きと働き続けることのできる環境を整えることが、地方創生の根幹となります。酒田市は、自らの意思によって働くまたは働こうとする女性が、その個性と能力を十分に発揮し、その思いを叶えられるまちを目指し、「日本一女性が働きやすいまち」となるよう、行政、経済団体、経営者、働く人が連携して取り組みを進めていくことをここに宣言します。』この宣言の背景には、自分の個性や力を発揮して、お互くわくが生み出されるまちあったから。誰もが自分らしく働きやすいまちづくりから始めよう。職場では、現状を客観的に捉えてみよう。性別に関わらず、自分の可能性を信じてチャレンジしてみよう。そして家庭での役割分担、地域との関わり方などを見つめ直していけば、きっと、このまちは、もっともっと自分らしく働くことができるようになるはず。「女性が働きやすいまち」ということはつまり、「みんなが働きやすい」ということだと思う。



ご清聴
ありがとうございました。

